

～災害に備えましょう～

災害は突然起こります。大切なペットのために日頃から対策をしておきましょう。

①飼い主の明示をしましょう

災害時に迷子になったペットを探すために、飼い主が分かるようにしておくことが大切です。

犬には必ず鑑札や狂犬病予防注射済票をつけましょう。また、マイクロチップの装着と登録、迷子札の装着などを行いましょう。



②しつけや健康管理をしておきましょう

災害時に預けたり、避難場所へ同行避難し共同飼育する場合には、基本的なしつけや健康管理をしておくことが非常に大切です。日頃から狂犬病予防接種を始めとしたワクチン接種やダニ・ノミの駆除を実施し、キャリーバッグやケージの中で過ごすことに慣らしてきましょう。

特に

＊犬は 「待て」「座れ」「不必要に吠えさせない」 など

＊猫は 「人とのふれあい」 に慣らしておくなど

③避難用品を準備しましょう

避難場所には餌やケージ等、ペット用品の備蓄はなく、救援物資もすぐに届くとは限りません。最低でも5日以上は準備しておきましょう。

フード、水、ペットシート、新聞紙、リード、糞尿の処理用具、常備薬、ペットの災害用手帳 等

④ペットの一時預け先を確保しましょう

あらかじめペットの一時預け先を確保しておくことが大切です。特に、大型の動物、危険な動物など、管理や受入れが難しい動物は、預け先を事前に確保しておきましょう。

⑤在宅避難ができるよう備えましょう

住み慣れた自宅で過ごせる在宅避難は、ペットにストレスがかかりません。自宅の被害が少なく、二次被害の危険がない場合には在宅避難も選択肢の1つです。

災害時の対策について、横浜市動物愛護センターホームページもご確認ください。

横浜市 ペット 災害

検索

